

ガバナー補佐方針

国際ロータリー第 2530 地区

2026-27 年度 県北第一分区ガバナー補佐

内藤 哲太郎（二本松 R C）

〈金田昇ガバナー地区運営方針〉

「連携と連帯で、持続可能なインパクトを生み出そう」 すべてのクラブ活性化のために

このたび、2026-27 年度県北第一分区ガバナー補佐を務めることとなりました。各クラブの皆様とともに一年を歩めることに、心より感謝申し上げます。このガバナー方針のもと、クラブ同士がつながり、支え合いながら、地域によりよい奉仕を届けていくことが大切だと考えています。

県北第一分区ガバナー補佐として、地区、分区のつながりを深め、各クラブの活動を支える橋渡し役を務めてまいります。皆様のご理解とご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。

【県北第一分区目標】

・クラブ活性化を最優先

- ・ まずはクラブが元気に活動できることを最優先に考えましょう。

・クラブ間の交流促進

- ・ 例会や事業への参加、合同事業、情報交換を通して、分区のつながりを強めていきましょう。

・会員増強 県北第一分区目標 20 人

- ・ 新しい仲間を迎えることと、今いる会員が気持ちよく活動が続けられることの両方を大切にしましょう。

・退会防止

- ・ 会員が増えないのではなく、残りたくなる理由が弱いのではないか？この視点の転換こそが、今求められているのだと思います。

・地域社会との連携強化

- ・ 地域の団体や関係機関と力を合わせ、地域の声に合った奉仕活動を進めていきましょう。

県北第一分区各7クラブへのお願い

- 例会や事業への行き来や情報交換、合同事業などを通して、クラブ同士のつながりをもっと気軽に深めて、クラブを活性化していけたらうれしく思います。
- 会員増強や会員維持、そして退会防止のためにも、参加しやすく、やりがいを感じられる環境づくりに、ぜひお力をお貸しいただけたらありがたいです。
- 地域とのつながりをさらに深めながら、それぞれのクラブらしい奉仕活動を、これからも無理なく大切に続けて、クラブを活性化していただけたらと思います。

各クラブが力を合わせ、地域に役立つ活動をこれからも続けていけるよう、私もガバナー補佐として少しでもお役に立てるよう努めてまいります。

クラブ活性化に重点を絞った、5つの目標については、会長・幹事会で気持ちを共有しながら、分区全体で同じ方向を向いて進めていけたらと思っております。

金田昇ガバナー年度が実りあるすばらしい一年となるよう、分区内の会長・幹事の皆様、そして鈴木浩之氏、渡辺聡氏二人の分区幹事としっかり力を合わせながら、県北第一分区ガバナー補佐として精一杯務めてまいります。

皆様のお力添えをいただきながら、一緒に実りある一年をつくっていければと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

「これからも、一生関わっていたいな」

そう思えるロータリークラブを、みんなで育んでいきましょう。